

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
国際経済論	三瀬 貴弘	講義	2		1, 2, 3	1, 2, 5	2, 3, 4
授業概要 授業目的	国際経済論は、国と国との間の経済的関係を勉強する学問である。講義では、①貿易・移民・多国籍企業・国際金融の基礎知識、②各国経済事情、③国際経済に関する基礎理論、④アメリカの軍事戦略が国際経済に与えた影響、に目を配りつつ、「リーマンショック」の評価、「IMF=ドル体制」の成立と崩壊、アメリカを中心とした国際的な資金循環の実態と意義・限界について考察する。詳細なレジュメを配布し、それに基づき講義する形式であるが、面白おかしい問題に取り組む「頭の体操」や、速記のスピードを競う「速記バトル」、居眠り防止のためにクイズを出す「〇突クイズ」など、受講生が退屈しない授業を行う。						
到達目標	①国際経済の歴史・現実・理論に関連する基礎知識を習得する。 ②「IMF=ドル体制」の特質について理解する。 ③アメリカを中心とした国際的な資金循環、「リーマンショック」の意義について理解する。						
回	学習内容						
1	オリエンテーション（国際経済論における研究潮流の整理）						
2	国際経済論・概論①（タイ運河、コロンブス交換、モンsoonアジアの勃興）						
3	国際経済論・概論②（実需と投機、日経平均株価、金融工学、LTCMの破たん）						
4	リーマンショックの視角①（サブプライムローン、債権の証券化、クレジットデフォルトスワップ）						
5	リーマンショックの視角②（インバウンドとアウトバウンド、アジア通貨危機、グローバリゼーション論）						
6	リーマンショックの視角③（グローバルキャピタリズムの危機、戦後資本主義世界体制の危機）						
7	総余剰分析（タックスヘイブン、BEPS、総余剰分析、ピギー税）						
8	国際貿易の理論（グラビティ理論、リカード、ヘクシャーオリーン定理、マンデルフレミングモデル）						
9	競争段階の理論（設備投資の集中的展開、I部門の不均等的発展）						
10	独占段階の理論（独占利潤、停滞基調と間欠的発展）						
11	軍事と経済（ディグラス、ベトナム戦争、超先端軍需産業）						
12	IMF=ドル体制の構築（基軸通貨、アメリカの国際収支の構造）						
13	IMF=ドル体制の崩壊（ドル危機、ニクソンショック、金融自由化）						
14	グローバリゼーションと投機的金融取引の盛行（レーガノミクス、ニューエコノミー、平和の配当）						
15	薄氷の帝国アメリカ（対テロ戦争、危うい循環、オバマ・イニシアティブ）						
予習内容 復習内容	予習；新聞やテレビのニュース、ネット等を通じ、国際社会で今何が起きているかを知っておく。 復習；配布レジュメや資料を読み直すこと。						
教科書	テキストは使用しない。参考文献は、①延近充『薄氷の帝国アメリカ』お茶の水書房、2012年。②伊藤元重『ゼミナール国際経済入門』日経新聞社；改定3版、2005年など。						
成績評価	レポート100%。授業への積極的参加などを加点要素とする（3%以内）。 6回以上欠席した場合は、レポートの提出資格はありません。						
実務経験							
その他 特記事項	メリハリのある、面白くて楽しい講義を心がけます。学生を指名することは、絶対にしませんので、気軽に受講してください。授業を難しく感じた場合は要復習です。講義内容については、受講生の学習の進捗度などによって、適宜調整します。						